

	作品	講評
1 黒部川 (低学年 金賞)	 <p data-bbox="242 497 596 577">「おじいちゃんが ヤマメを捕まえた」</p> <p data-bbox="261 600 584 645">あさひちょうりつ 朝日町立さみさと小2年</p> <p data-bbox="306 689 539 743">たにくち はる 谷口 晴 さん</p>	<p data-bbox="644 241 1434 734">画面全体がみずみずしい筆のタッチで描かれています。これは、水をよく含んだ筆で色を混ぜながら丁寧に塗り分け、川を描いているからでしょう。そして、下書きに青いクレヨンを使用したことで美しいブルーの色調がうまれています。作者は、ヤマメを掴んだ迫力の瞬間に、つぶらな目をキラキラ輝かせており、口元からは、魚に興味津々で気持ちのたかぶる様子が感じられます。魚の模様やヒレのかたちは、よく観察され、画面上でもひときわ細かく描写されています。魚を採ってくれたおじいちゃんが、立派なモリを片手に自信ありげな表情で作者を見守る様子も、大変微笑ましい情景となっています。</p>
2 黒部川 (高学年 金賞)	 <p data-bbox="306 1352 539 1388">「自然の遊園地」</p> <p data-bbox="280 1415 564 1460">うおづしりつ 魚津市立よつば小6年</p> <p data-bbox="300 1505 545 1559">さかした うるる 坂下 潤 さん</p>	<p data-bbox="644 824 1434 1218">川遊びで体験した、水しぶきの臨場感が伝わる作品です。水しぶきは、筆や歯ブラシなどに絵具を含ませ、それらを指ではじいてミスト状に紙に吹き付けて描く「スパッタリング」というモダンテクニックを用いており、筆で描いた点や線とは違う独特の水の表情を生み出しています。また、人の遊んでいる様子が画面上に小さく描かれており、川の大きさや水流のダイナミックさがよく伝わってきます。描く行為と、描いた対象がよくマッチした、テクニカルな作品と言えるでしょう。</p>

3
常願寺川（低学年）
金賞



「夏の砂防ダム」

とやまだいんげんにんげんはつたつかがくぶふぞく
富山大学人間発達科学部附属小3年

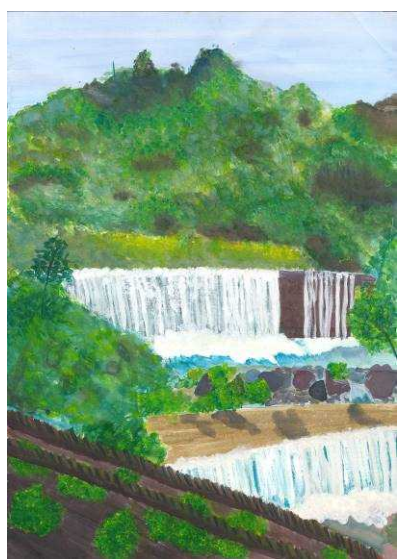
しまだ けんたろう
島田 健太郎 さん

砂防堰堤は、川の流に高低差をつけることにより、上流から流れてくる土石流の勢いを鎮め、川床が過剰に削られるのを防ぐ役割があります。本作に描かれた、砂防堰堤から落ちる白いシャワー状の水流は、落ちていく水の幅や、本数に変化がつけられ、小気味良いリズムが感じられます。また、堰堤の上面が見えないことから見上げの構図になっており、取材地が比較的上流の急勾配な地形であることも推察できます。そして、手前に描かれた赤い手すりとは、水の青色とは補色関係にあり、色同士の強いぶつかり合いが目を引くと共に、赤い手すりの直線的な線が、ダムから垂直に落ちる水流の縦線と、堰堤上面の水平な横線と交差しながら調和しているのも、この絵の見どころと言えるでしょう。

作品

講評

4
常願寺川（高学年）
金賞






「みんなの生活を守る
砂防ダム」

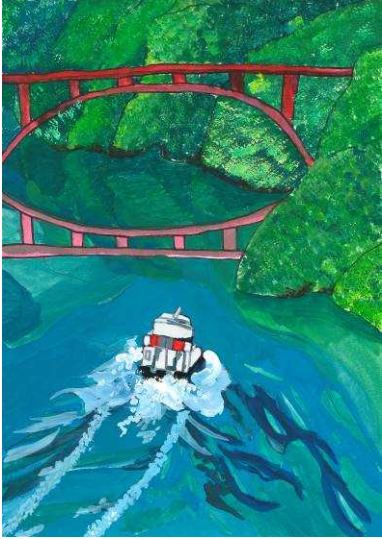
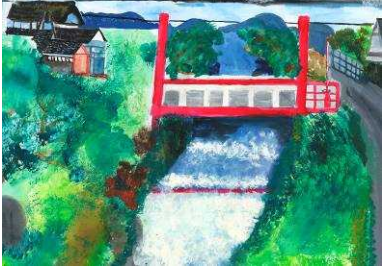
とやましりつごふく
富山市立五福小6年

ちよう びかん
張 美涵 さん

砂防堰堤と植物が生い茂る山の風景を描いた作品です。画面下左手前には、手すりロープのようなものが描かれており、近景から遠くの山の景色まで奥行きのある空間が、魅力的に広がります。また、山をぼんやりとした筆致で様々な色彩を用いて描き分けることで、湿度の高い空気感や、うっそうと茂る植物の密度の高さが表現されており、夏山の生命感を穏やかに伝えてくれます。大自然の中に堅牢に作られた砂防ダムのある風景からは、富山の治水文化の一旦を伺い知ることができるでしょう。

<p>5 神通川 (低学年 金賞)</p>	 <p>「あゆつり たのしそうだな」 たてやまちょうりつたてやまちゅうおう 立山町立立山中央小1年 まえだ こうた 前田 倭次 さん</p>	<p>神通川に腰まで浸かってアユ釣りをする二人の様子が画面に元気いっぱい描かれていて大変良いです。山々や木々、花、川底の石まで水彩や色鉛筆などを使ってカラフルに描かれており、にぎやかで楽しい絵です。アユを釣りあげる人、つられたアユ、驚くカニなど登場する人や生き物それぞれの表情がとても豊かで印象に残る作品です。神通川を舞台にいろんな生き物たちの物語が生まれそうです。</p>
<p>6 神通川 (高学年 金賞)</p>	 <p>「あっ！飛行機だ」 とやまだいりくじんげんはつたつかかくふふぞく 富山大学人間発達科学部附属小4年 みぞぐち りょう 溝口 諒 さん</p>	<p>神通川の河川敷にある神通川緑地からの眺めでしょうか。高速道路が通る、橋すれすれの高さと飛行機が下降しています。全国的に見ると珍しい光景ですが、富山市内に住んでいる人にはおなじみで、画面中央に描かれた鮎釣りをしている人の様子も夏の富山の川では目にする機会が多いです。その上、橋の奥には立山連峰の雄大なシルエットが描かれており、画面内に富山の名所、名物が盛りだくさんです。一方で、川の水面は、橋から落ちる陰や空の色、太陽光の反射など、微妙な色の移り変わりが丁寧に描き分けられています。橋や飛行機などの人工物のかたちが正確に捉えられており、川のゆったりとした流れと対比して、素朴ながらも洗練された緊張感を生み出しています。</p>

	作品	講評
<p>7 庄川 (低学年 金賞)</p>	 <p>「庄川のあゆつり」 たかおかしりつごい 高岡市立五位小2年 よねざわ はると 米澤 陽翔 さん</p>	<p>庄川の釣り人をよく観察して描いています。よく見ると胴長靴をはいてタモをもっている人は微笑んでいます。奥のもう一人はどこか渋い表情で釣り糸の先を見えています。ふたりの釣果が想像できて大変面白いです。川の流れも筆のタッチを変えながら丁寧に描かれていて、水の勢いや速さが伝わってきてとても良いです。背景の山々や頑丈そうな橋げた、川原の石、波消ブロックなど周りをしっかりと見て描いていることにも感心しました。</p>

	作品	講評
8 庄川 (高学年 金賞)	 <p data-bbox="252 728 609 806">「見つけたよ もう1つの赤い橋」</p> <p data-bbox="300 833 555 878">となみしりつでまち 砺波市立出町小4年</p> <p data-bbox="300 922 555 967">まえの ななみ 前野 七海 さん</p>	<p data-bbox="646 241 1430 638">山間のダム湖を進んでいく庄川峡の遊覧船とそこに架かる赤い橋が湖面に映っている様子を描いています。遊覧船の揺らめく波をダイナミックなタッチで描き、湖面に映る景色が徐々に消されていく感じが出ていて素晴らしいです。こんもりと茂った山々は点描で表現していて、水面との対比が見事です。くっきり映る逆さまの赤い橋があたりの静けさをより一層際立たせています。山、水、橋、船が画面の中で美しく調和しており心が穏やかになる作品です</p>
9 小矢部川 (低学年 金賞)	 <p data-bbox="300 1272 555 1305">「ホタルのいる川」</p> <p data-bbox="274 1332 587 1377">たかおかしりつといでとうぶ 高岡市立戸出東部小3年</p> <p data-bbox="300 1422 555 1467">ひめの りゅう 姫野 竜 さん</p>	<p data-bbox="646 1048 1430 1393">《ホタルのいる川》という題名ですが、日中の川に注目していることに驚きました。作者はこの川がホタルにとって棲みやすい豊かな環境であるというところを表現したかったのだと気が付きました。青々と茂る草木の間を川が白いしぶきをあげて流れている様子のほかに、家や赤い橋（用水路の水門？）などの人工物も丁寧に描かれており、人間が暮らす中でホタルの暮らしも守られていることが伝わります。夜の風景も見てみたくなるような作品です。</p>

	作品	講評
10 小矢部川 (高学年 金賞)	 <p>「小矢部川沿いの 工場地帯」</p> <p>ひみしりつこなん 氷見市立湖南小4年</p> <p>とがわ あい 戸川 藍 さん</p>	<p>遠くの空と山、工業地帯を背景に小矢部川が大きく描かれています。川面がきらきらと反射する様子を水彩の青色や緑色の軽やかなタッチで塗り重ねて表現しており透き通る美しさが出ていて大変良いです。また、画面左側に架かる橋には犬との散歩を楽しむ人や川を眺める人など人々が行き交う様子が細かく描かれており、作者が普段からこの景色に親しみを持っていることがよくわかります。川沿い一帯を鳥になった気分で見渡せる爽快な作品で素晴らしいです。</p>
11 審査員特別賞	 <p>「空の下の森と滝」</p> <p>たかおかしりつまきの 高岡市立牧野小5年</p> <p>うわい ゆうき 上井 悠稀 さん</p>	<p>宮島峡の景観をこれまで見たことのない表現方法で描いており、目に留まりました。細いペンでギザギザやまっすぐな線を上手に使い分け、空や樹々、水の流れを描写し、それぞれに色を施して風景を作り出しています。まるで布を縫い合わせて完成させたような画面で不思議と引き込まれます。目に映るものを素直な感性で表現しているところがとても魅力的です。</p>
12 審査員特別賞	 <p>「桜並木の石割川」</p> <p>とやましりつかみじょう 富山市立上条小6年</p> <p>くろさき かほ 黒崎 花帆 さん</p>	<p>画面を横切る桜の樹は、今にも水に溶け込みそうな柔らかいかたちをしています。よく見ると、桜を境に画面の上部と下部で描かれた水色に変化があります。これは、水流の違いを描き分けたのか、空と川の流れを描いたのか、などと推察しましたが場の状況は判然としません。風景を見たまま再現的に描かず、桜のかたちを捉えどころのない水の如く流れるように抽象化したことで、水のたゆたう雰囲気のようなものが見事に伝わってきます。</p> <p>明るく柔和な色彩と、桜の樹や花、水の流動感で、春の川の情景を大らかに表現した作品です。</p>